

2023・鷹番住区センター「自衛消防訓練」を行いました

9月25日（月）15時~16時に、鷹番住区センターにおいて、目黒消防署碑文谷出張所署員の協力を得て、「自衛消防訓練」を行いました。参加者は、老人いこいの家の利用者と職員、中央地区サービス事務所の職員、施設管理運営部会長、鷹番住区センターの従事者の計31名

①通報訓練

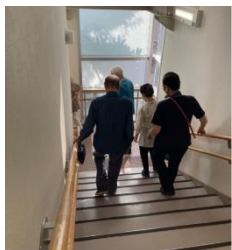
2階の第2会議室から出火したとの設定で“火災発生と避難誘導”の館内放送を行った後、速やかに、目黒消防署と中央地区サービス事務所に通報する訓練を実施。



「緊急連絡です。火事です」。
館内放送を2回繰り返した後、
エレベーターが使えないことも通報

②避難訓練

出火に気づいた従事者が各会議室、トイレ、給湯室に「火事だ、火事です」の声かけをし、利用者全員を1階のホールまで避難誘導。エレベーターが使えないので階段を降りる利用者の中には、避難訓練とは思えないほどの真剣な様子の方も。出火発見からホール集合までおよそ5分かかりました。



階段を降りるときは、お互い声をかけ合って



従事者は「火事だ」と大声を出しながら各会議室やトイレ、給湯室に人がいないかを確認。利用者の皆さん、1階ロビーへ無事に集合

③消火訓練

消防署員の指導のもと、水入りの消火器を使いレクリエーションホールのドライエリアで消火器の取扱訓練を行いました。事前に消防署員から取扱いの説明がありましたが、実際に使うとなるとままならないようです。

最後に署員から「消火器の設置場所と表示を確認してほしい」「火事を発見したら、ひとりで消火にあたるのではなく、必ず応援を呼び、消火器を集めて消火してほしい」など講評とアドバイスがあり、自衛消防訓練を終了しました。



消火する場所まで行ってから黄色のピンを抜く。火元に掃くように噴射する



参加者から「実際持つと重い」「ホースが外れない」「天ぷら鍋の油に火がついたときは？」など多数の質問があり、身近な問題として意識の高さがうかがわれた

